

令和6年度

事業計画書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

## 令和6年度事業計画について

当財団は京都コンサートホール、京都市文化会館（5館）、ロームシアター京都の指定管理者として施設の運営に当たるとともに、京都市交響楽団の運営も行っております。

令和6年度は、京都コンサートホール、京都市文化会館（5館）については、指定管理者として5期目の2年度目を迎え、ロームシアター京都については、3期目（8年間）の指定管理者として後期期間の2年度目となります。

各施設共に、指定管理者指定申請書において提案した取組を着実に推進することにより、一層、京都の文化芸術の魅力を国内外に発信し、京都の心豊かな暮らしを深く実感できる文化芸術をあらゆる人に提供してまいります。

京都市交響楽団においては、京都市交響楽団ビジョンの戦略に基づき、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図ってまいります。

## 『公益目的事業』

### ■ 京都コンサートホール

#### I 主催・共催事業〔37事業42公演7講座〕

令和6年度は、「京都から始まる音楽、新たな出会い」を年間テーマに掲げ、当ホールを活動拠点とする京都市交響楽団による公演のほか、国内外の世界的アーティストによる公演や地元アーティストを起用した公演等、京都における「クラシック音楽の殿堂」として多種多様なコンサートをお届けします。今年で28回を迎えるホール基幹事業「京都の秋 音楽祭」においては、京都市交響楽団の演奏による『開会記念コンサート』を皮切りに、およそ2か月にわたり20公演を実施いたします。

育成事業及び普及事業では、多角的な視点から事業を組み立てることにより、幅広い聴衆層の獲得を目指し、地域の文化振興・発展に貢献します。また、2024年度から2年かけて活動を行う第3期登録アーティストを新たに採用し、小学校や福祉施設など様々な現場でアウトリーチ公演を実施することにより、地域住民との音楽的交流を図ると共に未来の聴衆の獲得に努めます。

また、令和7年にはホール開館30周年を迎えるため、令和6年度より記念事業の準備を進めてまいります。

#### 1 京都市交響楽団のさらなる飛躍を促進

京都市交響楽団の音楽をより多くの方々に親しんでいただくため、主催事業の基幹となる「京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」を京都ゆかりの若手指揮者である杉本優のタクトでお届けします。また、京都市交響楽団と京都コンサートホールが連携して行うプロジェクト・シリーズでは、2024年をもって指揮者人生の引退を発表している、マエストロ井上道義による指揮で、ブルックナーの《交響曲第8番》を披露します。

また、アンサンブルホールムラタでは、京都市交響楽団メンバーによる様々なアンサンブルを共同制作し、個々の活動をサポートすることで、京都市交響楽団の飛躍に貢献します。

#### 2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

令和6年度は、国内外で活躍する人気アーティストや音楽団体によるコンサートを企画し、クラシック音楽が持つ親密な雰囲気をお客様にご堪能いただきます。

大ホールでは、世界的ピアニストであるサー・アンドラーシュ・シフが「カペラ・アンドレア・バルカ」と共に、オール・モーツァルト・プログラムをお届けします。

アンサンブルホールムラタでは、日本を代表するアーティストである、ヴァイオリニストの神尾真由子とピアニストの上原彩子のデュオ、そして同じくヴァイオリニストの成田達輝とピアニストの荻原麻未のデュオが、それぞれ至高のハーモニーを響かせます。世界的ヴァイオリニストで、いま世界で最も熱い視線が注がれていると言っても過言ではない、パトリ

ツィア・コパチンスカヤが「カメラータ・ベルン」を率いて、シューベルトの名曲を披露します。また、海外アーティストによる室内楽を主にしたシリーズ「北山クラシック倶楽部」については、計4公演を実施します。クラシック音楽専用ホールであるアンサンブルホールムラタで質の高いコンサートを開催することにより、室内楽ファンの開拓を目指してまいります。

### 3 日本有数のパイプオルガンの活用

1996年より継続して開催している、西日本最大級の京都コンサートホールのパイプオルガンを活用した『オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ』を2回開催します。令和6年度は、「オルガニスト・エトワール」のシリーズとして、近年バッハ演奏で評価を高めている中田恵子をゲストに迎え、オール・バッハ・プログラムを披露します。「世界のオルガニスト」のシリーズとしては、第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト（令和6年夏頃に発表予定）による演奏をお届けします。これらのコンサートを開催することにより、当ホールのパイプオルガンの魅力を全国に向けて発信します。

### 4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

京都市交響楽団員や合奏指導者の指導のもと、オーケストラ活動を展開している「京都市ジュニアオーケストラ」は、指揮者の下野竜也を迎えて「第20回 京都市ジュニアオーケストラコンサート」を開催するほか、京都市文化会館で行う「ミュージック・サマー・コンサート」や金戒光明寺で開催する「アウトリーチ・コンサート」等、活動の幅をこれまで以上に広げます。令和7年に迎える創立20周年を目前に、次代の文化芸術の担い手や鑑賞者の育成を図るとともに、京都市ジュニアオーケストラのファンをさらに開拓していきます。

また、関西の音楽大学・芸術大学8校の学生が京都コンサートホールに一堂に会する『第13回 関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール』では、指揮者の大友直人のタクトのもと、ベルリオーズの《幻想交響曲》等を披露します。この事業では、普段交流することのない各大学の学生たちが、日頃の練習成果を相互に発表しあうとともに、各大学間における情報交換・ネットワークの拡大・音楽教育の向上などを目指します。

### 5 子どもや青少年の創造性を育む事業

誰でもクラシック音楽を気軽に楽しむことができる『KCH的クラシック音楽のススメ』では、京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを務めるヴァイオリニストの石田泰尚によるヴァイオリン・コンサートを開催します。耳馴染みのある作品からヴァイオリン作品の傑作まで、様々な曲をプログラミングすることにより、音楽鑑賞の楽しさを提供します。

京都コンサートホール登録アーティスト制アウトリーチ事業『Join us! ～<sup>ジョイナス</sup>キョウト・ミュージック・アウトリーチ～』では、令和6年4月より新たに「京都コンサートホール第3

期登録アーティスト」としてピアニストを2名採用し、2年にわたりアウトリーチ活動を行います。生演奏を介して地域住民と文化的交流を図りながら、未来の聴衆を育てます。

また、幼児からオルガンに親しめる『ポジティブオルガン体験講座』では、令和6年から新たにオルガニストの長田真実を講師として招き、ホール独自の鑑賞プログラムを提供します。子どもたちにとっては初めての体験となる「クラシック音楽との出会い」が印象に残るものとなるよう、細部に工夫を凝らして実施します。

## 6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催

京都コンサートホールでは、幅広い層のお客様にご来場いただけるようなホール独自の事業を企画し、ホールやホール周辺の賑わい創出に寄与できるよう心がけています。

平日11時開演のマチネコンサートである『京都北山マチネ・シリーズ』では、国内外で活躍する若手から中堅音楽家をゲストに迎えて、トーク付きの60分公演を全4回実施します。プログラミングに配慮し、より多くの方がコンサートに親しみを持ち、気軽にホールに訪れることのできる機会を提供します。さらに、地域の商店街と協力しランチタイムサービス等を実施することにより、地域の活性化にも貢献してまいります。

一般の演奏家が熱演を繰り広げる『リレーコンサート』では、京都コンサートホール事業企画課が演奏会をプロデュースし、アマチュア音楽家の方々により本格的なステージ体験をしていただけるよう細部まで創意工夫します。また、音楽を通して様々な方が交流できる場作りを行ってまいります。

1階エントランスホールで開催する、入場無料の『京都コンサートホール・ロビーコンサート』では、市民の方々がより気軽にホールに来場できる機会を提供すると共に、京都ゆかりの音楽家の活躍の場を作ります。

## 7 音楽芸術活動の支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会や若手音楽家による室内楽演奏会などを支援します。また、大学からのインターンシップや中学校での「生き方探究チャレンジ体験」などの受け入れを積極的に行ってまいります。

### (参考) ホール利用助成制度の実績

年 度	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)
実 績	11事業	14事業	13事業	11事業

(参考) 京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)	令和6年度 (計画)
事業数	44事業	46事業	35事業	44事業	37事業
公演数	62公演	55公演	42公演	51公演	42公演
講座数	5講座	4講座	4講座	7講座	7講座

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和元年度はうち2事業3公演、令和2年度はうち30事業46公演、令和3年度はうち13事業13公演、令和4年度はうち1事業1公演を中止及び次年度以降延期。

## Ⅱ 受託事業

### 1 指定管理業務

京都コンサートホールは「世界レベルの音楽芸術の殿堂」としての機能を高めるとともに、より安心・安全で利便性の高い公共ホールとしての機能を高め、更なる利用の促進を図ってまいります。

### 2 施設管理の目標

京都コンサートホールの利用者の増加やホール利用助成制度の利用促進、リピーターへの営業活動等により利用料金収入増を目指します。

令和6年度の施設利用料金収入額等の目標については、「コロナ以前」となる平成30年度利用実績に利用料金改定による増収を勘案し設定しました。

#### 目標1 利用料金収入額

(単位：千円)

区分	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
ホール利用料金	229,206	215,182	183,729	85,429	170,928	211,856
駐車場利用料金	18,289	17,956	14,858	6,912	11,355	14,604
合計	247,495	233,138	198,587	92,341	182,283	226,460

#### 目標2 入場者数

(単位：名)

区分	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
入場者数	296,000	295,466	264,910	48,209	103,894	200,135

#### 目標3 日数利用率

(単位：%)

施設	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
大ホール	69	69	61	40	72	73
アンサンブル ホールムラタ	61	61	57	28	55	62

○上記稼働率を達成するために、特に平日利用を促進するための取組を行います。

○学校関係に対し、利用案内の送付・営業訪問等を行います。

○定期的なホール利用促進会議を実施し、近隣ホールを利用する団体、また周年を迎える企業や芸術文化団体をリサーチし、営業訪問等を行うとともに、ホールをご利用いただいた皆様へ、後日、アンケートを兼ねたお礼状を送付し、リピーターの確保並びにニーズ把握に努めます。

### 3 お客様のサービス向上に向けた取組

#### (1) お客様満足度向上会議（CS会議）の推進

全施設に設置しているCS（顧客満足度向上）会議やレセプション・舞台担当会議を引き続き開催し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上に努めてまいります。

施設で働く全部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を協議し、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待に応える接客・応対を実施してまいります。

#### (2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

今年度も「理事長への手紙」を引き続き実施し、手紙をいただいた皆様からのご意見を参考に、これまで以上にサービスの向上に努めます。

また、施設の利用に関する要望や提案をお伺いするために、「お客様ご意見箱」の設置や、施設を利用する全ての利用者（鑑賞者、主催者、来館者等）を対象にしたアンケート調査を実施します。

#### (3) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくために、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や客席内にて鑑賞マナー向上を啓発するパネルをレセプションにより掲示する等して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるよう、より良い環境づくりに努めてまいります。

#### (4) 施設管理体制の更なる強化

利用者、観客等の安全確保を最優先にしつつ、快適な施設としての品質を確保するよう適切な維持管理を行います。開館後、28年が経過し、施設の老朽化を踏まえ日常の設備運用や保守点検、備品管理等を適正に実施します。また、京都市による劣化度調査の結果を踏まえた大規模改修へ向け、計画的かつ効率的な修繕や改修計画の実施に向けて取り組みます。

### 4 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

#### (1) 自主事業ラインアップの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業のラインアップを紹介するための年間パンフレットを発行し、劇場のファンを増やすとともに、施設利用促進や賛助会員獲得にもつなげていきます。

#### (2) 催物カレンダーの発行（毎月）

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業のほか、京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載した「京都コンサートホール コンサートガイド」を毎月

発行します。デザインも一新し、より見やすく魅力的な情報をお届けすることで、チケットの販売促進につなげます。

### (3) ホームページ等の充実

インターネットの利点を最大限に活かし、閲覧者に常に新鮮な情報を発信し、情報の充実や画面の見やすさ、離脱しにくいページの工夫を行ってまいります。貸館についてのページも拡充し、利用料金シミュレーション機能を導入するなど、初めてホールを利用するお客様にも分かりやすく使いやすい、貸館利用促進に繋がるページにしてまいります。

### (4) 電子チケットの運用

スマートフォンやパソコンにQRコードを発行し、読み取り機にQRコードをかざすだけで入場できる電子チケットについて、取得時の手数料を安価に設定し、利用を促進します。電子チケットにすることで、窓口等でチケットを受け取る必要がなくなる等のメリットをより広く発信し、お客様の利便性の向上を図ってまいります。

### (5) 学生、高齢者、障がい者等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

コンサートホールの自主事業における学生割引制度、シニア割引制度、障がい者割引制度を実施し、学生、高齢者、障がい者等が音楽を鑑賞しやすい環境を整備します。

### (6) ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく、他のジャンルにも間口を広げ、多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、平日のホール利用率向上に努めます。

#### (参考) ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)
事業数	3事業	5事業	9事業	5事業

### (7) 外部資金の獲得

主催事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めます。さらには、賛助会員制度（5 各種会員制度等の運営（2）賛助会員制度の運営 参照）を活用します。また、令和6年度より新設する「京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度」について、令和7年度以降も継続して外部資金を獲得できるよう、円滑な運営を目指します。

## 5 各種会員制度等の運営

### (1) 「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」の会員数拡大に向けた取組

令和6年度も引き続き「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」の周知を図るとともに、会員を限定とした京都市交響楽団の練習風景の公開や京都コンサートホール・ロームシアター京都の両施設のバックステージツアー、会員限定コンサートなど幅広いイベントを開催し、またグッズ割引を実施するなどの特典も付与することにより、新規会員の獲得に努めてまいります。

フレンズ（オンライン）会員についても、メールマガジンで随時情報を発信して京都コンサートホールとロームシアター京都への関心を喚起し、会員の維持・拡大に努めます。

#### (参考) 会員数の推移

(単位：名)

会 員 制 度	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)
京都コンサートホール・ ロームシアター京都Club	2,071	2,531	3,010	3,483

### (2) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホールならびにロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員（サポーター・パートナー会員）制度を設けています。令和6年度は更なる会員制度の充実を図るため改編に向けての検討をしております。また、会員の方には情報誌の送付、チケットの先行予約、会員向けイベントなどの特典をご用意し、継続してご支援いただけるよう努めます。

#### (参考) 会員数と寄付金額の推移

会 員 区 分	令和3年度 実績		令和4年度 実績		令和5年度 (令和6年2月末現在)	
スペシャルサポーター（法人）	2件	100万円	2件	100万円	1件	50万円
サポーター（法人）	17件	180万円	17件	180万円	19件	200万円
スペシャルパートナー（個人）	28件	149万円	16件	103万円	22件	95万円
パートナー（個人）	48件	96万円	50件	100万円	44件	88万円
合 計	95件	525万円	85件	483万円	86件	433万円

## ■ 地域文化会館

(東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、北文化会館、右京ふれあい文化会館)

### I 主催事業〔全41事業51公演4講座〕

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として、平成23年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」「アウトリーチ活動」などを引き続き実施し、文化芸術活動団体、行政、学校関係、地元の各団体等とのネットワークを強化し、文化芸術活動の育成や支援と情報受発信、地域イベントへの積極的な関与など地域との関わりを深め、地域の文化芸術の振興に努めてまいります。

#### 1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催

各地域文化会館を拠点に活動しているパートナーシップ団体、行政、教育機関など、それぞれの代表者で構成された「地域文化芸術活動活性化協議会」を各地域文化会館に設置し、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への助言や意見交換などを行ってまいりましたが、地域に根差した意見を吸収できる環境を整え、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動・情報の受発信、事業の協働開催など、文化芸術の活動拠点として、より一層、地域に寄り添い活性化を図るとともに、魅力ある地域づくりに貢献してまいります。

#### 2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の5つの視点を重視した文化事業を実施します。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

##### (1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業

京都市から委託を受けて取り組んできた「フランチャイズ(活動拠点)化事業」を、平成23年度から「文化芸術活性化パートナーシップ事業」と名称変更し、財団の自主事業として実施しています。本事業では、文化会館が地域の文化芸術の拠点であることを意識した鑑賞型の「無料公演」と、地域の子どもたちを対象とした「教育プログラム」の実施のほか、「アウトリーチ活動」にも積極的に取り組みます。また、地域の教育機関や福祉施設と連携し、文化芸術の社会包摂機能の更なる活用や、地元の文化芸術団体と連携した文化芸術活動の活性化やネットワークの強化と拡大を図ってまいります。

(参考) 令和6年度パートナー団体

文化会館名	パートナー団体
東部文化会館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル
呉竹文化センター	京・伏見音楽サークル和音
西文化会館ウエスティ	特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団
北文化会館	合唱団「葡萄の樹」
右京ふれあい文化会館	吹奏楽団「雅」

(2) 地域における文化芸術普及事業

ア 音楽芸術文化の紹介

広く市民に音楽芸術を紹介し、地域の文化芸術の振興を目的とした公演を開催します。北文化会館では、新たなジャンルとして、ジャズに注目し、日本を舞台に活躍するプロの演奏家による公演「ジェイコブ・コーラーソロピアノJAZZコンサート」を開催します。

イ 伝統的芸術文化の紹介

伝統音楽・伝統芸能を文化会館が広く市民に紹介し、理解と支援、継承の機運形成の一助とすることを目的とした公演やワークショップを開催します。東部文化会館ではプロの噺家による質の高い伝統話芸「伝統芸能「寄席」(仮称)」、呉竹文化センターではわかりやすい解説とワークショップを交えた「伝統芸能「狂言鑑賞会」(仮称)」をそれぞれ開催します。

ウ アウトリーチ事業

地域文化会館5館で、市民の文化芸術活動の活性化や地域の文化芸術の振興を目的として、地域文化会館に登録している協力団体(文化芸術活動団体)が地域の各団体、学校、福祉施設などからの依頼により、ミニコンサートやワークショップ等を行う「アウトリーチ事業」に積極的に取り組みます。

(3) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と連携した「ウエスティ音暦(おとごよみ)」(2公演)を西文化会館ウエスティで、また、「京都市立芸術大学 文化会館コンサート」を北文化会館で開催し、才能ある若い世代の活動を支援します。また、東部文化会館では、京都橘大学と連携し、文化芸術の振興に寄与する人材の育成を目的とした「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を引き続き実施します。

## イ 子どもを対象とした体験型事業

次世代の文化芸術活動を担う子どもたちが、多様な芸術表現や劇場に触れ豊かな感性と創造性を身につけるための事業として、東部文化会館で「アニメーションづくりを楽しもう！」を、西文化会館ウエスティで「夏休みウエスティたんけんツアー」を実施します。

## (4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

### ア 市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、「市民創造ステージ」を令和6年度も引き続き、北文化会館で開催します。

また、東部文化会館では、地域との連携・協働による参加型事業として、地域のコーラスサークルによる発表や交流の場とする「第19回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催します。

### イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援

西文化会館ウエスティでは地域ネットワークを活用し、地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し、地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上への支援を行う「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催します。

### ウ 地域における文化芸術の普及を支援

右京ふれあい文化会館では、右京区の太秦に映画撮影所があることから、「京都・太秦キネマのまち」と題して、キネマの町に因んだ、世紀の名優の映画について、映画関係者による対談・講演と、関連する映画作品の上映を2公演開催します。

### エ 創作文化の作品展示

賑わいスペースの創出として、東部文化会館では「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターでは「くれたけミニギャラリー」、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ ギャラリー」、北文化会館では「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館では「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催します。

### オ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートでの照明・音響演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスをを行います。

## (5) 施設間の交流事業

### ア 鑑賞型事業の実施

市民が京都市交響樂團を通じて、気軽にクラシック音楽を楽しめるように、京都市交響樂團のメンバーによるクラシック音楽のコンサート「ちょっと素敵なお朝からクラシック」を、呉竹文化センターにおいて2公演を開催します。

また、京都市交響樂團と連携し、文化会館5館において低料金で0才から入場できる「ZERO歳からのみんなのコンサート」の開催や、市民が生演奏に触れ、気軽にクラシック音楽に親しむ機会を提供するアンサンブルコンサートを開催します。

### イ 未就学児向けの公演の実施

地域文化会館5館とロームシアター京都との連携事業として、劇場に初めて訪れる「シアターデビュー」を楽しい体験にし、より多くの人たちが劇場に足を運ぶことができる環境づくりと、子どもを対象とした良質な舞台作品を生み出すこと、作品作りに関心を持つアーティストやスタッフを増やすことを目的に、各館で公演を実施します。海外から招聘した作品上演やワークショップの開催など、子どもたちの創造性を豊かにするとともに、音楽を身近に感じる作品上演を実施します。

### ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都コンサートホールとの連携事業で京都市交響樂團が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」については、音楽活動を充実させるため、練習会場として各地域文化会館を活用するとともに、活動内容の情報を発信するなど、若いオーケストラを支える環境づくりを行います。

また、右京ふれあい文化会館では、「京都市ジュニアオーケストラ ミュージック・サマー・コンサート」を開催します。

### エ 京響コーラスの活動支援

京響コーラスの練習会場として文化会館での利用支援や練習公開を実施することで、京響コーラスのレベルアップと地域の文化振興を図ります。

#### (参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)	令和6年度 (計画)
事業数	50事業	55事業	53事業	42事業	41事業
公演数	68公演	69公演	59公演	51公演	51公演
講座数	7講座	6講座	7講座	5講座	4講座

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年度はうち30事業34公演3講座、令和3年度はうち12事業18公演2講座、令和4年度はうち1事業2公演、令和5年度はうち3事業3公演を中止及び次年度以降延期

## II 受託事業

### 1 指定管理者業務

地域文化会館の指定管理者として、地域住民の文化芸術を核にした「豊かなくらしの実感」を提供するとともに地域住民の多彩な文化的活動の拠点としての機能を発揮し、更なる利用の促進を図ります。

### 2 施設管理の目標

施設の利用促進のための営業活動や国等による助成金の確保にも努めます。令和6年度の施設利用料金収入等の目標については「コロナ以前」となる平成30年度実績に利用料金改定による増収を勘案し設定しました。

#### 目標1 利用料金収入額

(単位：千円)

施設	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
東部文化会館	33,427	30,756	29,069	15,722	23,808	29,019
呉竹文化センター	40,623	37,665	59,045	22,385	32,059	40,093
西文化会館ウエスティ	33,867	31,099	30,247	16,172	25,071	29,516
北文化会館	40,807	38,126	31,591	19,759	29,320	37,013
右京ふれあい文化会館	36,725	33,631	35,562	20,417	29,513	35,827

#### 目標2 日数利用率

(単位：%)

施設	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
東部文化会館	64	64	55	36	59	59
呉竹文化センター	75	74	69	42	67	74
西文化会館ウエスティ	62	60	60	41	63	61
北文化会館	80	77	59	39	67	77
右京ふれあい文化会館	69	69	67	46	63	71

以上、各施設の規模、立地条件、地域との連携等を活かした事業を企画し、各種文化芸術活動団体、教育機関、京都市交響楽団との連携をより一層深めながら、文化芸術の振興・発展を目指すとともに、サンキューレターの活用による利用者のリピート率向上を図り、これまで以上に集客及び増収に取り組んでまいります。

### 3 お客様のサービス向上に向けた取組

#### (1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進【再掲】

京都コンサートホール（7ページ）参照

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール（7ページ）参照

4 集客のための取組

(1) 地域文化会館割引制度

地域文化会館の平日のホール利用の促進や、追加利用に対するサービス向上を図るため、引き続き平日直前利用割引制度と平日連続区分利用割引制度を実施します。

(参考) 地域文化会館割引制度利用数 (単位：件)

平日直前利用割引	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)
東 部 文 化 会 館	4	9
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	4	0
西文化会館ウエスティ	10	1
北 文 化 会 館	6	4
右京ふれあい文化会館	12	8
計	36	22

平日連続区分利用割引	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)
東 部 文 化 会 館	47	31
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	78	72
西文化会館ウエスティ	41	50
北 文 化 会 館	39	91
右京ふれあい文化会館	53	54
計	258	298

## ■ ロームシアター京都

令和6年度の自主事業ラインアップテーマは、「好奇心の入口、世界への出口」としています。国内外のアーティストによる旺盛な探究心と知的冒険に満ちたプログラムが並んでいます。また、令和8年1月には、ロームシアター京都は10周年を迎えます。それを見据えた準備についても、令和6年度より進めてまいります。

### I 主催・共催事業〔36事業71公演8講座〕

世界水準の優れた作品をお届けするとともに、作品と社会の関係や、作品を創造し育むための様々な視点を得ながら、ロームシアター京都ならではの方法を試行錯誤し、今日における劇場の果たすべき役割を見出していきます。この目的を果たすため、自ら舞台芸術作品を企画・制作するシリーズ、他の劇場・芸術団体と共同で新作を制作するシリーズを発展させ、その作品の背景や見どころについての理解を促し、鑑賞の手引きとなるようなウェブマガジンやパンフレット、ワークショップの関連企画を充実させます。さらに、地域文化会館や東山青少年活動センター、京都芸術センターなど、他の文化施設と連携し、京都における文化芸術のハブとしての機能を高めるための事業を実施します。『つながり（交流）』を全事業の包含する要素として位置づけ、『つくり（創造）』、『育て（育成）』、『活かす（生活）』有機的なサイクルを作り上げます。

#### 1 交流事業

身体表現の多様さを実感し、楽しんでいただけるダンスプログラムが海外からやってきます。まずは、名門ダンスカンパニーからの振付オファーが続く、注目のノエ・スーリエ。次に、シャイヨー国立劇場ディレクター、ラシッド・ウランタンによる超絶技巧満載の舞台。ダンス界の新星と呼び声が高いマルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ、ドレスデン・フランクフルト・ダンスカンパニー芸術監督のヤニス・マンダフニスの作品が続きます。世界水準の演目によって、「文化の殿堂」としての存在感を発揮し、海外との交流の促進をはかります。

#### 2 創造事業

劇場の財産となる作品をプロデュースするシリーズ「レパトリーの創造」では、社会に対する違和感を鋭い感性と確かな筆力で描き出す、市原佐都子が新作を発表します。さまざまな状況にある女性たちへのインタビューやその身体を巡るフィールド・リサーチを経て放たれる、書き下ろしです。日本と韓国の俳優、スタッフのコラボレーションも楽しみな要素です。そして、京都市交響楽団・第9代常任指揮者（1990年4月～1998年3月）を務めた、井上道義によるオペラ「ラ・ボエーム」を全国の7つの公共劇場、7つのオーケストラとの共同制作で実現します。2024年12月にて指揮活動の引退を公表している井上にとって、最後のオペラであり、ロームシアター京都初登場にして、最後のロームシアター京都の舞台になります。劇場間連携事業 KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『ライカムで待つとく』、音楽シ

リーズSound Aroundなど、ロームシアター京都を創造の場として機能させ、ここから新たな舞台芸術を誕生させてまいります。

### 3 育成事業

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 京都公演『ドン・パスクワレ』」、「小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXXI」、京都芸術センターとの連携事業「U35創造支援プログラムKIPPU」を実施することで、交流や育成の場としての機能を大いに果たしてまいります。令和元年度にスタートさせた、10代を対象とした人材育成事業「劇場の学校」も継続します。

### 4 生活事業

多彩なライフスタイルを享受する「生活事業」として、「プレイ！シアター in Summer」、「OKAZAKI PARK STAGE」など、ホールを飛び出して行う幅広い事業でロームシアター京都ならではの「劇場文化」を醸成してまいります。

### 5 賑わいスペース事業

パークプラザには、飲食をしながら読書などができるブック&カフェや、催物前後の語りを楽しむことのできるレストラン等があり、また、岡崎公園ともつながるローム・スクエアやロビー等では、マルシェなどの野外イベントや芸術作品の展示等を通じて子どもから大人まで楽しめる空間が広がっており、様々な人々が日常的かつ継続的にロームシアター京都に足を運ぶサイクルが生まれています。

ロームシアター京都が舞台芸術にとどまらず、多くの方の交流の場となり、岡崎エリアの賑わいの一翼を担っていくために、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、ホールでの催物に加えて日常的にさまざまなサービスやイベントを展開していきます。

なお、営業時間については令和6年度においても、社会的状況を踏まえ適切な営業時間で運営を行うものとします。

#### (参考) 賑わいスペースを活用した事業内容等

事業内容	場所、店舗名称	営業時間※
ブック&カフェ	パークプラザ1階 (屋外テラス等を含む)	午前 8時から午後10時※
ギフト雑貨販売	【京都岡崎 蔦屋書店】	午前 8時から午後 8時※
インフォメーション	【スターバックスコーヒー】	午前 8時から午後10時※
レストラン	パークプラザ2階 (屋外テラス等を含む)	午前11時から午後10時※
レセプション コンベンションサービス	【京都モダンテラス】	

キオスク	サウスホール1階ホワイエ内 【ファミリーマート】	午前 8時から午後 8時※
ギャラリー・ライブラリー	パークプラザ3階 共通ロビー内 【BOOK&ART GALLERIA】	午前10時から午後 5時※ (開館時間等に応じて変更)

※臨時休館等により変更の場合あり。

## 6 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」(パークプラザ3階)を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営します。

「ミュージックサロン」は、①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②セミナー、講演会、コンサート等の文化芸術イベントを開催する施設として運営しています。オーケストラやオペラなどの貴重な映像を大型スクリーンでご鑑賞いただいたり、ロームシアター京都でのオペラ公演に関連する特別展示等を開催するほか、展示期間中に合わせてオンラインによる配信コンサートを開催してまいります。

### (参考) ロームシアター京都における事業・公演数の変遷

年 度	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 (見込)	令和6年度 (計画)
事業数	30事業	32事業	38事業	38事業	36事業
公演数	87公演	83公演	117公演	76公演	71公演
講座数	3講座	7講座	18講座	8講座	8講座

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年度はうち7事業25公演、令和3年度は6事業15公演、令和4年度は1事業1公演を中止及び次年度以降延期。

## II 受託事業

### 1 指定管理業務

各施設の特徴を活かした施設利用が行われるよう、充実した設備や立地、また施設としての知名度を活かした集客の可能性や実績の強調等により、従前の利用者にもこれまで通り利用していただきながら、MICEなども含めた新たな利用の促進も引き続き図ってまいります。

また、的確な利用調整や各種指標に基づく施設管理等による効率的で効果的な施設運営を行い、あわせて利用料金収入の確保に努めます。

### 2 施設管理の目標

ロームシアター京都中間評価委員会において令和4年度に「ロームシアター京都（京都会館）の中間評価及び後半4年間の事業計画書等」を策定しており、令和6年度の施設利用料金収入額等の目標については、「コロナ以前」となる平成30年度利用実績に利用料金改定による増収を勘案し、目標を設定しました。

#### (1) 施設利用促進に向けた営業活動

各施設の特徴やこれまでの実績等を踏まえ、本格的な総合舞台芸術公演等を積極的に誘致するとともに、市民の文化活動の発表の場として各施設の特徴が最大限発揮されるような利用を促進していきます。また、利用者への各種サポート等により利便性の向上に努め、繰り返しロームシアター京都を利用していただけるよう努めてまいります。

#### (2) MICE誘致に向けた関係機関との定期的な協議

多彩な文化・交流施設が集積し、国の「重要文化的景観」にも選定された岡崎エリアにおいて、より質の高いMICEの開催が可能となることを積極的にPRするとともに、MICE等の誘致・対応に向けて、京都市及び京都文化交流コンベンションビューロー、みやこめっせ、京都市京セラ美術館等との情報連携を強化し、様々なニーズに応じていきます。

#### 目標1 利用料金収入額

(単位：千円)

区分	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
ホール等利用料金	360,314	333,812	337,152	136,254	274,933	343,413

#### 目標2 入場者数

(単位：名)

区分	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
入場者数	500,000	497,784	478,875	76,076	210,564	332,861

### 目標3 日数利用率

(単位：%)

施設	令和6年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績
メインホール	81	81	74	49	63	82
サウスホール	80	80	77	46	63	73
ノースホール	72	72	77	59	67	78

○上記稼働率を達成するために、特に平日利用を促進するための取組を行います。

○関西圏・首都圏の主要プロモーター・プロダクションや、京都府・京都市内の教育機関、文化団体への営業活動等を実施します。

○ノースホールについては令和5年度に制度開設をした、オーケストラ、吹奏楽、合唱等の練習・リハーサル会場として、通常利用料金よりお得にご利用いただける制度を継続し、施設の特性を生かした新たな利用者候補を新規開拓するとともに、利用しやすい環境づくりに努め、利用に結び付けていきます。

### 3 お客様のサービス向上に向けた取組

#### (1) お客様満足度向上会議（CS会議）等の推進

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）会議等を開催し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、利用者の期待に応える接客・応対を実施してまいります。

#### (2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール（7ページ）参照

#### (3) 賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を確実に行うことで、施設全体として円滑な連携のもと、サービスの向上に努めます。

#### (4) 施設管理体制の更なる強化

利用者、観客等の安全確保を最優先にしつつ、快適な施設としての品質を確保するよう適切な維持管理を行います。開館後の実際の運用により把握してきた施設や各種機器の特性などを踏まえ、光熱水費の抑制にも取り組みながら利用状況や季節変動等に応じた日常の設備運用や保守点検、備品管理などを工夫し、利用者への情報提供等を行うことで、よりの確で効率的な施設運営に努めます。また、職員等の業務内容や体制面での整備も進めるとともに、従前から進めている各種マニュアルの更新や場内サービス業務等の研修、施

設全体に係る防災訓練等を、引き続き実施することで、安心・安全で快適な劇場空間を提供してまいります。

開館8年を経て、施設・設備も補修や修繕が必要となり始めていることから、計画的かつ、効率的な修繕の実施、また、今後の修繕計画の策定に取り組めます。

#### **4 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務**

催物カレンダーや事業ラインアップの発行、ホームページやSNSの運用、貸館の広報、会員制度の運用及び事業実施等にあわせた話題づくり等により、効果的な広報・宣伝を展開し、ロームシアター京都への期待感を引き続き高めていくとともに、劇場の認知度をさらに向上させることで来館や貸館利用の促進に努めます。

また、京都コンサートホールと共通のチケット販売システムの運用を行い、市民サービスの向上とともに貸館利用促進に結びつけてまいります。

##### **(1) 自主事業ラインアップの発行**

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のラインアップを紹介するためのリーフレットを発行し、ロームシアター京都のビジョンを提示することで、劇場のファンを増やすとともに、施設利用促進や賛助会員獲得にもつなげていきます。

##### **(2) 催物カレンダーの発行（毎月）**

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか、ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載した「ロームシアター京都 イベントカレンダー」を毎月発行し、集客やチケットの販売促進につなげます。

##### **(3) ホームページ等の充実**

ホームページについては、平成27年度に開設し、アクセスの分析等を踏まえた掲載情報の更新、閲覧や掲載作業に係るシステムの更新等を重ねてきました。新型コロナウイルス感染症の影響下においては、オンラインでアクセスできるコンテンツの重要性も増していることから、令和3年度に充実させた特設サイトやSNS等のコンテンツ活用を維持し、より閲覧しやすく使用しやすいものとなるよう工夫を図ってまいります。

##### **(4) 電子チケットの運用【再掲】**

京都コンサートホール（8ページ）参照

##### **(5) 外部資金の獲得【再掲】**

主催事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めます。さらには、賛助会員制度（5 各種会員制度等の運営（2）賛助会員制度の運営 参照）を活用します。

## 5 各種会員制度の運営

### (1) 「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール（9ページ）参照

### (2) 賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール（9ページ）参照

## ■ 京都市交響楽団

1956年に全国唯一の自治体直営オーケストラとして発足した京都市交響楽団は、多くの市民に支えられながら、日々演奏力に磨きをかけ、最良の音楽を届けることに邁進し、文化的な市民生活に寄与するとともに、日本屈指のオーケストラとして評価されるまでに、成長・発展を続けてきました。

平成30年度に京都市交響楽団条例が制定され、令和元年度には、京都市交響楽団の更なる発展を目指すため、京都市交響楽団ビジョンを策定しました。令和2年度からは、地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、京都市交響楽団楽団員は、京都市の特別職非常勤嘱託員から、当財団の職員となりました。

令和6年度については、今年度第14代常任指揮者に就任した沖澤のどかが2年目に入り、令和4年5月開催の定期演奏会で共演したヤン・ヴィレム・デ・フリーントが首席客演指揮者に就任します。新たな指揮者体制の下、楽団のレパートリーを多様化し、新たな京響の魅力を引き出すとともに、世界へ京響を発信してまいります。

今後も、京都市交響楽団ビジョンに基づき、「身近な存在として、市民に愛され誇りとされるオーケストラ」「文化芸術都市・京都の象徴となるオーケストラ」「世界に向けて最高の音楽を発信し続けるオーケストラ」を目指し、これまで培ってきた財産を継承しながら、新たな時代を見据えて果たすべき役割を自覚し、更なる発展を目指してまいります。

### I 主催・共催事業〔25事業47公演〕

#### 1 定期演奏会

常任指揮者の沖澤のどか、さらに新首席客演指揮者のヤン・ヴィレム・デ・フリーントに加え、巨匠から実力派、新進気鋭の若手まで幅広く、世界で活躍する指揮者やソリストを招き、古典から近・現代までの魅力あふれる楽曲を数多く揃え、芸術性の高い、充実した演奏を提供してまいります。

また、令和4年度から開始した、金曜夜7時30分開演の休憩なし約1時間プログラムの公演「フライデー・ナイト・スペシャル」を公演によっては内容の見直しを図り、全ての2日開催月の初日公演（6公演）に開催し、さらなる聴衆拡大を図ります。

#### 2 特別演奏会

恒例のスプリングコンサート、第九コンサート及びニューイヤーコンサートを開催し、充実した出演者と心躍る楽曲により、時節を彩る演奏をお届けします。

#### 3 特別演奏会（市外公演）

2009年ハノーファー国際コンクールを制したヴァイオリニストの三浦文彰を指揮として、またヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人として初優勝した辻井伸行をソリ

ストに迎え、大阪及び名古屋で特別演奏会を開催し、日本屈指の演奏力と評される京響の知名度や評価の全国区での更なる浸透を目指します。

#### **4 オーケストラ・ディスカバリー**

名曲の演奏と楽しいトークでオーケストラやクラシック音楽の魅力を紹介する青少年のための演奏会を開催し、青少年の情操の向上や健全な心の育成とともに、若い世代へのオーケストラの振興と普及を図ります。年4回のシリーズ券を設定し、定期演奏会の会員への導入コンサートとしても位置づけています。また、令和6年度からは近隣にファミリーの憩いの場である京都市動物園や岡崎公園があり、市内中心部からもアクセスが良いロームシアター京都に会場を移して開催します。

#### **5 ZERO歳からのみんなのコンサート**

地域の文化会館を会場に低料金で入場できる演奏会を開催し、日頃クラシック音楽に接する機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供し、地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及、クラシック音楽ファンの醸成、京響ファンの獲得を図ります。令和5年度から6公演全てについて対象年齢を0歳からに統一しており、御家族そろってオーケストラの魅力をお楽しみいただきます。

#### **6 地域文化会館との連携事業等**

地域文化会館が実施するアウトリーチ事業に協働で取り組み、地域の文化芸術の振興を図ります。

#### **7 共催事業**

京都市の小・中学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催し、クラシック音楽の普及、クラシック音楽ファンの醸成、若年層の京響ファンの獲得を図ります。

#### **8 その他事業**

京都市ジュニアオーケストラへの演奏指導、中学生や高校生を対象とした楽器講習会、京響コーラスの運営など、京都に根差した音楽活動を通して、京響を市民に身近に感じていただく活動や将来の音楽文化の担い手の育成などにも取り組みます。

## Ⅱ 京響友の会

令和6年度につきましても、年間通しての特別会員及び定期会員、フライデー・ナイト・スペシャル会員に加え、4枚分のチケットを自由にカスタマイズできるセレクト・セット会員を設けております。

法人会員につきましても、前年同様チケット会員に加え、スポンサー会員制度と寄附会員制度を御用意し、今後も京響が世界水準の音楽で京都の文化芸術をリードし、音楽を通じた京都のひと・まちづくりを進めていくための支援・協力を求めてまいります。

## Ⅲ 受託事業

依頼に応じて、京都市内の演奏会に加え、京都府下（綾部市）や、滋賀県（大津市）、大阪府（大阪市、茨木市）、兵庫県（西宮市）、和歌山県（和歌山市）、広島県（福山市）など市外の演奏会にも出演し、クラシック音楽の普及や京響のアピールに取り組めます。

## ■ その他

### I 組織人員体制・配置等の最適化

令和6年度についても、業務効率や生産性の向上に取り組みつつ、適正な人員体制の確保に努めます。これまで蓄積してきた専門知識・ノウハウを継承し、キャリアの浅い職員からベテランまで、各職員の能力を十分に発揮・伸張させることで組織の活力の向上を図ります。

### II 働きやすい職場づくりの推進

財団内の職員間における不合理な待遇の差をなくし、どのような雇用形態の職員にとっても働きやすい職場環境づくりに引き続き、努めてまいります。

職員の意欲・能力を適切に評価し、積極的な登用を行ってまいります。

また、令和6年度についても引き続き、年次有給休暇の取得の推進や時間外労働の抑制の推進を行うとともに状況に合わせ、柔軟に新しい働き方を検討してまいります。

### III 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、社会的要請や環境変化に対応して、より自立的・安定的な組織運営力を発揮していくために必要な研修を実施してまいります。

令和6年度についても、職員一人ひとりが幅広い知識・課題解決力の向上等、更なるスキルアップを図ることを目的として、民間企業が実施する研修への参加機会をこれまで以上に推進し、次世代のリーダーを育成してまいります。

また、効果的・効率的な職員の配置を行うために、新規採用職員に対しての基本研修の実施や、すべての職員に対し、コンプライアンスに関する意識の向上を図る研修を実施するとともに、管理職員向けの研修等も引き続き、実施してまいります。

### IV 環境への配慮

当財団は、平成20年のKES（京都市環境マネジメントシステム・スタンダード）認証の取得以後、毎年再認証を取得しています。

令和6年度も、職員全員が環境マネジメント活動を推進し、地球環境との調和を目指し、積極的な節電対策など環境に配慮した会館運営を行います。

また、リサイクル促進について、利用者から発生する缶・ビン・ペットボトルなど、ゴミの分別廃棄を徹底するとともに、業務上発生する印刷書類等裏側の再利用やリサイクル紙の購入等をはじめとするグリーン調達を行います。

設備・備品調達や外部委託発注においても、グリーン調達及び委託業者の環境配慮動向を見極めた発注を行うように努めます。

さらにエネルギー削減を行うため、会館内の適正冷暖房の設定及び不必要な電灯の消灯等の取組を徹底してまいります。

## **V ファンドレイジング及びICT環境整備による財務の合理化の推進**

より安定的な財源の確保を目指して、公的、民間を問わず外部資金の獲得の強化に努めます。また、ICTの活用により、顧客サービスの向上と事務作業の負担軽減の両立を目指し、財務の合理化を引き続き、推進してまいります。

## **VI 京都市交響楽団ビジョン及び「中期経営計画2025」の進捗管理**

令和元年度に策定した「京響ビジョン」の5つの戦略の推進及び令和3年度末に策定した中期経営計画「2025」に関し、それぞれ掲げる目標について財団全体で進捗管理を行い、目標の達成に向けて引き続き、取り組んでまいります。

## 『収益事業』

### I 公益目的外の施設提供事業

#### 1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場として運営してまいります。

駐車場目標収入額

施設	令和4年度実績	目標駐車場収入額
京都コンサートホール	14,604,870円	18,289,000円
東部文化会館	3,354,500円	4,029,000円
西文化会館ウエスティ	4,238,700円	5,096,000円
右京ふれあい文化会館	4,044,700円	4,366,000円
計	26,242,770円	31,780,000円

#### 2 オリジナルグッズ等販売

京都コンサートホールオリジナルグッズや京響オリジナルグッズ等を販売してまいります。

オリジナルグッズ等目標収入額

項目	令和4年度実績	目標収入額
京都コンサートホール	243,350円	400,000円
ロームシアター京都	152,230円	200,000円
京都市交響楽団	957,518円	1,040,000円
計	1,353,098円	1,640,000円

#### 3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売します。

入場券販売業務受託収入の目標収入額

施設	令和4年度実績	目標収入額
京都コンサートホール	14,110,666円	16,000,000円
地域文化会館	65,810円	74,000円
ロームシアター京都	8,811,339円	10,000,000円
計	22,987,815円	25,074,000円

令和6年度

収支（正味財産増減）予算

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

# 令和6年度収支（正味財産増減）予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	355	355	0	
1 基本財産運用益	355	355	0	
基本財産受取利息等	355	355	0	
②特定資産運用益	800	350	450	
1 特定資産運用益	800	350	450	
特定資産受取利息等	800	350	450	
③事業収益	2,140,685	2,164,217	△ 23,532	
1 自主・共催事業収益	504,304	577,148	△ 72,844	
入場料収益	184,835	180,391	4,444	
参加料収益	3,133	2,216	917	
友の会会費	52,498	53,908	△ 1,410	
京響コーラス会費	2,700	2,160	540	
広告料収益	23,635	49,435	△ 25,800	
共催事業収益	42,681	126,068	△ 83,387	
助成金収益	192,122	159,973	32,149	
物品販売等収益	1,700	1,997	△ 297	
著作隣接権等収益	1,000	1,000	0	
2 事業受託収益	184,104	154,310	29,794	
事業受託収益	184,104	154,310	29,794	
3 管理受託収益	751,825	765,185	△ 13,360	
管理受託収益	751,825	765,185	△ 13,360	
4 利用料収益	658,511	625,869	32,642	
ホール利用料金収益	626,731	594,089	32,642	
駐車場利用料金収益	31,780	31,780	0	
5 その他事業収益	41,941	41,705	236	
企画・演出手数料等収益	12,200	12,200	0	
賑わい事業収益	19,850	19,850	0	
プレイガイド事務手数料収益	9,891	9,655	236	
④受取補助金等	890,000	860,000	30,000	
1 受取地方公共団体補助金	890,000	860,000	30,000	
京都市補助金	890,000	860,000	30,000	
⑤受取寄付金	7,112	7,112	0	
1 受取寄付金	7,112	7,112	0	
寄付金収益	7,112	7,112	0	
⑥雑収益	13,135	10,190	2,945	
1 雑収益	13,135	10,190	2,945	
受取利息等	1	1	0	
管理手数料等収益	12,945	9,955	2,990	
雑収益	189	234	△ 45	
経常収益合計	3,052,087	3,042,224	9,863	

# 令和6年度収支（正味財産増減）予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	3,007,016	2,966,653	40,363	
役員報酬	7,226	4,112	3,114	
給料手当	1,135,900	1,025,883	110,017	
賞与引当金繰入額	39,887	37,095	2,792	
退職給付費用	15,519	20,582	△ 5,063	
臨時雇賃金	38,888	61,752	△ 22,864	
福利厚生費	191,811	187,717	4,094	
会議費	25	25	0	
旅費交通費	35,610	28,519	7,091	
通信運搬費	25,732	27,942	△ 2,210	
減価償却費	7,016	9,767	△ 2,751	
消耗什器備品費	2,535	4,985	△ 2,450	
消耗品費	35,643	31,814	3,829	
商品費	900	800	100	
見本費	10	10	0	
修繕費	26,600	35,600	△ 9,000	
印刷製本費	43,059	38,630	4,429	
広告宣伝費	24,398	30,818	△ 6,420	
光熱水料費	213,300	215,750	△ 2,450	
賃借料	69,835	72,968	△ 3,133	
保険料	2,755	2,750	5	
諸謝金	6,127	4,357	1,770	
租税公課	68,698	63,091	5,607	
支払負担金	53,409	12,999	40,410	
チケット購入額	85	85	0	
支援事業助成金	500	500	0	
委託費	950,434	1,036,823	△ 86,389	
接遇交際費	108	128	△ 20	
支払手数料等	7,141	7,952	△ 811	
雑費	3,865	3,199	666	
②管理費	35,163	33,934	1,229	
役員報酬	5,161	2,938	2,223	
給料手当	15,275	17,634	△ 2,359	
賞与引当金繰入額	2,527	2,523	4	
退職給付費用	1,226	745	481	
福利厚生費	4,146	4,263	△ 117	
会議費	200	200	0	
旅費交通費	200	200	0	
通信運搬費	100	100	0	
減価償却費	158	291	△ 133	
消耗什器備品費	100	100	0	
消耗品費	500	500	0	
修繕費	50	50	0	

# 令和6年度収支（正味財産増減）予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
印刷製本費	50	50	0	
保険料	300	300	0	
諸謝金	397	397	0	
租税公課	2,763	2,733	30	
支払負担金	300	300	0	
委託費	500	500	0	
接遇交際費	50	50	0	
支払手数料等	1,150	50	1,100	
雑費	10	10	0	
経常費用合計	3,042,179	3,000,587	41,592	
当期経常増減額	9,908	41,637	△ 31,729	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	7,459	△ 8,556	16,015	
一般正味財産期首残高	640,923	649,479	△ 8,556	
一般正味財産期末残高	648,382	640,923	7,459	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	2,449	50,193	△ 47,744	
指定正味財産期首残高	186,310	136,117	50,193	
指定正味財産期末残高	188,759	186,310	2,449	
III 正味財産期末残高	837,141	827,233	9,908	

令和6年度収支（正味財産増減）予算書 内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業			収益事業等 物品販売等 公益目的外 事業	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計				
	文化芸術事業	ホケステラによる 文化芸術事業					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	355	0	355	0	0	0	355
1 基本財産運用益	355	0	355	0	0	0	355
基本財産受取利息等	355	0	355	0	0	0	355
②特定資産運用益	800	0	800	0	0	0	800
1 特定資産運用益	800	0	800	0	0	0	800
特定資産受取利息等	800	0	800	0	0	0	800
③事業収益	1,407,944	469,057	1,877,001	448,181	35,163	△ 219,660	2,140,685
1 自主・共催事業収益	268,203	234,401	502,604	1,700	0	0	504,304
入場料収益	89,717	95,118	184,835	0	0	0	184,835
参加料収益	3,133	0	3,133	0	0	0	3,133
友の会会費	3,500	48,998	52,498	0	0	0	52,498
京響コース会費	0	2,700	2,700	0	0	0	2,700
広告料収益	23,535	100	23,635	0	0	0	23,635
共催事業収益	27,051	15,630	42,681	0	0	0	42,681
助成金収益	121,267	70,855	192,122	0	0	0	192,122
物品販売等収益	0	0	0	1,700	0	0	1,700
著作権隣接権等収益	0	1,000	1,000	0	0	0	1,000
2 事業受託収益	4,687	234,656	239,343	0	0	△ 55,239	184,104
事業受託収益	4,687	234,656	239,343	0	0	△ 55,239	184,104
3 管理受託収益	583,916	0	583,916	132,746	35,163	0	751,825
管理受託収益	583,916	0	583,916	132,746	35,163	0	751,825
4 利用料収益	551,138	0	551,138	255,611	0	△ 148,238	658,511
ホール利用料金収益	551,138	0	551,138	223,831	0	△ 148,238	626,731
駐車場利用料金収益	0	0	0	31,780	0	0	31,780
5 その他事業収益	0	0	0	58,124	0	△ 16,183	41,941
企画・演出手数料等収益	0	0	0	12,200	0	0	12,200
賑わい事業収益	0	0	0	19,850	0	0	19,850
プレイガイド事務手数料収益	0	0	0	26,074	0	△ 16,183	9,891
④受取補助金等	0	879,964	879,964	10,036	0	0	890,000
1 受取地方公共団体補助金	0	879,964	879,964	10,036	0	0	890,000
京都市補助金	0	879,964	879,964	10,036	0	0	890,000
⑤受取寄付金	7,012	100	7,112	0	0	0	7,112
1 受取寄付金	7,012	100	7,112	0	0	0	7,112
寄付金収益	7,012	100	7,112	0	0	0	7,112
⑥雑収益	1	0	1	13,134	0	0	13,135
1 雑収益	1	0	1	13,134	0	0	13,135
受取利息等	1	0	1	0	0	0	1
管理手数料等収益	0	0	0	12,945	0	0	12,945
雑収益	0	0	0	189	0	0	189
経常収益合計	1,416,112	1,349,121	2,765,233	471,351	35,163	△ 219,660	3,052,087

## 令和6年度収支（正味財産増減）予算書 内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的の外 事業			
	文化芸術事業	ホケストラによる 文化芸術事業					
(2)経常費用							
①事業費	1,424,589	1,335,107	2,759,696	466,980	0	△ 219,660	3,007,016
役員報酬	4,129	2,581	6,710	516	0	0	7,226
給料手当	265,418	731,641	997,059	138,841	0	0	1,135,900
賞与引当金繰入額	22,525	6,698	29,223	10,664	0	0	39,887
退職給付費用	9,293	1,862	11,155	4,364	0	0	15,519
臨時雇賃金	5,443	6,433	11,876	27,012	0	0	38,888
福利厚生費	47,423	117,406	164,829	26,982	0	0	191,811
会議費	25	0	25	0	0	0	25
旅費交通費	11,166	24,152	35,318	292	0	0	35,610
通信運搬費	12,796	11,795	24,591	1,141	0	0	25,732
減価償却費	2,959	3,360	6,319	697	0	0	7,016
消耗什器備品費	1,411	750	2,161	374	0	0	2,535
消耗品費	19,018	10,593	29,611	6,032	0	0	35,643
商品費	0	0	0	900	0	0	900
見本費	0	0	0	10	0	0	10
修繕費	19,185	3,000	22,185	4,415	0	0	26,600
印刷製本費	29,866	12,402	42,268	791	0	0	43,059
広告宣伝費	14,770	9,470	24,240	158	0	0	24,398
光熱水料費	156,896	7,000	163,896	49,404	0	0	213,300
賃借料	113,357	96,574	209,931	3,142	0	△ 143,238	69,835
保険料	983	1,600	2,583	172	0	0	2,755
諸謝金	3,621	1,848	5,469	658	0	0	6,127
租税公課	38,051	9,241	47,292	21,406	0	0	68,698
支払負担金	12,135	30,800	42,935	10,474	0	0	53,409
チケット購入額	85	0	85	0	0	0	85
支援事業助成金	5,500	0	5,500	0	0	△ 5,000	500
委託費	625,123	240,794	865,917	155,939	0	△ 71,422	950,434
接遇交際費	38	50	88	20	0	0	108
支払手数料等	2,138	2,457	4,595	2,546	0	0	7,141
雑費	1,235	2,600	3,835	30	0	0	3,865
②管理費	0	0	0	0	35,163	0	35,163
役員報酬	0	0	0	0	5,161	0	5,161
給料手当	0	0	0	0	15,275	0	15,275
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	2,527	0	2,527
退職給付費用	0	0	0	0	1,226	0	1,226
福利厚生費	0	0	0	0	4,146	0	4,146
会議費	0	0	0	0	200	0	200
旅費交通費	0	0	0	0	200	0	200
通信運搬費	0	0	0	0	100	0	100
減価償却費	0	0	0	0	158	0	158
消耗什器備品費	0	0	0	0	100	0	100
消耗品費	0	0	0	0	500	0	500

## 令和6年度収支（正味財産増減）予算書 内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	公益目的事業			収益事業等 物品販売等 公益目的外 事業	法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	小 計				
	文化芸術事業	ホケステラによる 文化芸術事業					
修繕費	0	0	0	0	50	0	50
印刷製本費	0	0	0	0	50	0	50
保険料	0	0	0	0	300	0	300
諸謝金	0	0	0	0	397	0	397
租税公課	0	0	0	0	2,763	0	2,763
支払負担金	0	0	0	0	300	0	300
委託費	0	0	0	0	500	0	500
接遇交際費	0	0	0	0	50	0	50
支払手数料等	0	0	0	0	1,150	0	1,150
雑費	0	0	0	0	10	0	10
経常費用合計	1,424,589	1,335,107	2,759,696	466,980	35,163	△ 219,660	3,042,179
当期経常増減額	△ 8,477	14,014	5,537	4,371	0	0	9,908
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額			0		0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,477	11,565	3,088	4,371	0	0	7,459
一般正味財産期首残高			636,959	3,964	0	0	640,923
一般正味財産期末残高			640,047	8,335	0	0	648,382
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	2,449	2,449	0	0	0	2,449
指定正味財産期首残高			186,310	0	0	0	186,310
指定正味財産期末残高			188,759	0	0	0	188,759
III 正味財産期末残高	0	0	828,806	8,335	0	0	837,141